

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	芽生え始めたアカデミック・ソーシャルメディア：Archaeo-GIS WorkshopがおくるUSTREAM "友引Night!!"
Title	Archaeo-GIS Workshop ' s USTREAM " TOMOBIKI Night!! " at the Dawn of Academic Social Media
著者	阿児雄之, 近藤康久
Author	Takayuki Ako, Yasuhisa Kondo
掲載誌/書名	日本地球惑星科学連合2011年大会要旨集, , ,
Journal/Book name	, , ,
発行日 / Issue date	2011, 5

MTT034-02

会場:102

時間:5月24日 16:45-17:00

芽生え始めたアカデミック・ソーシャル・メディア：Archaeo-GIS Workshop がおくる USTREAM "友引 Night!!" Archaeo-GIS Workshop's USTREAM "TOMOBIKI Night!!" at the Dawn of Academic Social Media

阿児 雄之^{1*}, 近藤 康久²
Takayuki Ako^{1*}, Yasuhisa Kondo²

¹ 東京工業大学百年記念館, ² 東京大学総合研究博物館

¹ Centennial Hall, Tokyo Tech, ² University Museum, University of Tokyo

2010年は、リアルタイムの動画配信をおこなう USTREAM と、140文字以内のつぶやき（ツイート）を投稿するソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）である Twitter をはじめとするソーシャル・メディアが急速に普及し、人々に新たな「つながり」を創出した。いふなれば、新しいソーシャル・ネットワークの「夜明け」である。ソーシャル・メディアは科学研究にも浸透を深めており、研究分野の垣根を越えた交流、さらには市民も巻き込むアカデミック・コミュニケーションのきっかけを築いてきた。本発表では、2010年5月から放送を開始した考古学 GIS USTREAM 「友引 Night!!」の取り組みを紹介し、アカデミック・ソーシャル・メディアの可能性を論じたい。

「友引 Night!!」は、2010年に突然始まった訳ではない。2005年頃から、考古学の研究に GIS（地理情報システム）を使ってみようと考えている研究者がブログを用いて個人の研究内容や着想を発信し始めた。それらの活動は自然とゆるやかな繋がりを形成し、2007年に研究機関の垣根を越えたコミュニティである Archaeo-GIS Workshop が設立された。このワークショップは、研究成果を報告する場というよりはむしろ、そこに至るまでの失敗談や、GIS を研究ツールとして利用する際の問題点・ノウハウなどを話しあい、学びあう場をめざしている。具体的な活動としては、GPS の野外実習や GIS のハンズオンセミナーを通じて最先端の空間情報技術の学び合いを進めるとともに、考古学へのより効果的な応用のあり方を探求している。その過程で、在京の2名が、人的つながりの強化と考古学 GIS に対する理解の深化を目論んで USTREAM 放送を企画した。これが「友引 Night!!」である。その特徴を以下に要約する。

番組名：「友引 Night!!」

URL：<http://www.ustream.tv/channel/ta-niiyan-s-show>

配信者：阿児雄之（@ta_niiyan）・近藤康久（@yaskondo）

配信日：隔友引ごとに配信（約12日ごと）

話題：考古学と GIS に関連することなら何でも

時間：夕方 18 時台または 19 時台から 60 分+

構成：前説（ゲスト紹介、時事ネタ）、本編、アプリ・ツール紹介、イベント告知

番組は2011年1月までに12回配信した（List 1 参照）。配信中は、USTREAM と Twitter を連携させてリアルタイムに視聴者とのやりとりをおこない、議論を深めていく。さらに、動画は録画できるので、配信時間外での視聴と意見交換も可能である。番組に関連するツイートにはハッシュタグが自動付与されるため、together などのサービスを用いてコメントの集約が可能である。

興味深いことに、「友引 Night!!」の経験を通して、USTREAM 配信は単なる繋がりの形成を超えた新たな発想・気付きを生み出すことが分かってきた。この点にこそ、アカデミック・ソーシャル・メディアが今後の科学研究に果たす意義・可能性があると感じている。

List 1

#000 (2010.05.13) 試験放送 Quantum GIS+GRASS のインストール（ハンズオン）

#001 (2010.07.04) ゲスト：みやーさん / 六曜 / iPad と考古学

#002 (2010.07.26) 近江貝塚研究会（写真測量、古代史 GIS） / FileMaker Go

#003 (2010.08.07) Open Street Map / ハリス・マトリクス / TexTra

#004 (2010.08.23) ゲスト：うえに & かなえ / 蔵書の管理方法 / GPS Babel / ゲストトーク

- #005 (2010.09.08) GOOD DESIGN EXPO / G 空間 EXPO / GISA 2010 / GIS NEXT 最新号 / VoiceTra
- #006 (2010.10.13) 情報考古学会シンポ「発掘調査と情報管理」 / 東京時層地図 / 東工大展示告知
- #007 (2010.10.25) 東大寺宝剣 News / GISA + GeoNomi 報告 / Omni Graffle
- #008 (2010.11.10) CSIS DAYS 2010 勝手に前夜祭 / GeoClino / @ta_niiyan 展示を語る / 奈文研空間情報展
- #009 (2010.11.22) 考古学と FOSS4G / 地図 BAR / iPad と列品管理
- #010 (2010.12.09) ゲスト：小口先生 (@ogugeo) / 西アジアの遺跡と古地形
- #011 (2011.01.06) 新年の挨拶 / @yaskondo AR.Drone を語る / @ta_niiyan オサレ自転車を語る / CSIS の共同研究制度
- #012 (2011.01.18) @yaskondo AR.Drone を直す / @ta_niiyan WiMAX 使用レポート / @yaskondo オマーンに行く

キーワード: アカデミック・ソーシャル・メディア, USTREAM, Twitter, 考古学, GIS
Keywords: Academic Social Media, USTREAM, Twitter, Archaeology, GIS